

宮城県看護協会登米支部コーナー

令和4年2月発行

支部会員の皆様には、日頃より支部活動へのご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度もコロナ禍にあって制約を受けながらの支部活動ではありましたが、感染対策に努めながら下記の活動を行う事が出来ましたのでご報告いたします。

～ 令和3年度活動～

ふれあい看護体験

令和3年8月3・4日開催

高校生7名参加

登米市民病院内の見学と看護体験を行いました。

参加者同士が組みになり、ストレッチャーや車椅子移送、血圧測定等を体験してもらい、参加者は患者さんの立場を考えながら看護に触れることができましたようです。



支部研修会

令和3年11月4日開催

会員48名参加

「東日本大震災からの10年～振り返り想う事～」

講師 佐々木 薫さん（登米市立米谷病院総看護師長）
東日本大震災当時の病院の被災状況や医療提供などの経験談を伺い、改めて防災について考えるきっかけと機会を提供して頂きました。

看護管理者ネットワーク会議

令和3年12月10日開催 23名参加

登米市内の医療、福祉、介護、行政などの看護管理者の方々に参集いただきました。また、宮城県看護協会からは石井会長、赤間常任理事にも参加していただき、コロナ対応の情報共有や事例検討などを行うことで活発な意見交換の場となり、顔の見える関係づくりが出来ました。

今後もより良い活動になるよう、支部役員で模索していきたいと思っております。
何かご意見等がございましたら、お近くの役員にお声掛けください。

広報委員 千葉・木川田